

事務事業実施状況及び経営状況 評価シート（令和3年度分）

団体名	一般財団法人 静岡市環境公社	所管課	ごみ減量推進課
基本理念	静岡市及び関係諸団体との協働・連携に基づき環境事業を行うことにより、地域における環境施策の推進と環境保全を図り、もって良好な環境を形成し、市民の健康で文化的な生活の確保に寄与する。		

《経営計画書 取組状況》

1 事業面における取組状況等

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4	
1	《家庭ごみの収集運搬事業》 市の代替機関として家庭ごみの収集運搬を確実に実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上につなげる。 (関係課: 収集業務課・ごみ減量推進課)	家庭ごみ収集運搬業務の確実な実施	目標	—	業務の完全実施	業務の完全実施	業務の完全実施	業務の完全実施
			実績	実施	実施	実施	実施	
			進捗状況	—	達成	達成	達成	
		大規模災害を想定した収集運搬体制の構築	目標	—	体制維持・補完	体制維持・補完	体制維持・補完	体制維持・補完
			実績	体制維持	体制維持	体制維持	体制維持	
			進捗状況	—	達成	達成	達成	
	(関係課: 収集業務課・ごみ減量推進課)	目標	—					
		実績						
		進捗状況	—					
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭可燃ごみの収集運搬業務については、必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し確実に実施できている。 大規模災害を想定した収集運搬体制の構築については、平成29年10月に「業務継続計画」を策定し、状況の変化に応じて適宜見直しを図るなど、適切な運営体制を構築している。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭可燃ごみ収集運搬業務において、従事している職員の内、臨時職員とパートタイム職員の割合が約76%、65歳以上の高齢者職員の割合は約55%となっている。また、運転手については67歳以下の職員を充てているが、臨時職員の募集をしても若い世代の応募は無く、人員確保が困難となっている。今後の事業の継続実施を見据えた、正規職員と臨時職員、年齢など、バランスのとれた職員雇用が必要と考えており、適正な人員配置に必要な人件費の確保が課題となっている。 						
	関係課意見	<p>【収集業務課意見】</p> <p>駿河区の可燃ごみについて安定した収集業務を実施できている。</p> <p>【ごみ減量推進課意見】</p> <p>業務継続計画の策定・随時見直しにより、大規模災害等に備えている。</p>						
	項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
2	《公共施設の廃棄物の収集運搬事業》 公共施設の廃棄物の運搬を効率的かつ効果的に実施し、健全な施設運営を図る。 (関係課: 廃棄物処理課・下水道施設課)	清掃工場から発生する廃棄物の収集運搬の確実な実施	目標	—	運搬の完全実施	運搬の完全実施	業務の完全実施	業務の完全実施
			実績	実施	実施	実施	実施	
			進捗状況	—	達成	達成	達成	
		下水浄化センターから発生する廃棄物の収集運搬の確実な実施	目標	—	運搬の完全実施	運搬の完全実施	業務の完全実施	業務の完全実施
			実績	実施	実施	実施	実施	
			進捗状況	—	達成	達成	達成	
	(関係課: 廃棄物処理課・下水道施設課)	目標	—					
		実績						
		進捗状況	—					
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設から排出される廃棄物の収集運搬業務については、必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し、確実に実施できている。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集運搬車両の架装部分について、運搬する廃棄物の性状(多量の塩分を含む)に起因すると思われる車両運搬架装の劣化が想定以上に進んでいる状況にある。車両の維持管理で計画的に修繕を進めていくうえで、限られた受託費の中での効果的な修繕の実施が課題となっている。 						
	関係課意見	<p>【廃棄物処理課意見】</p> <p>廃棄物等の発生量と調整を取りながら、収集運搬を安定的かつ確実に実施している。</p> <p>【下水道施設課意見】</p> <p>天蓋付き車両を使用するなど施設周辺の環境に配慮しているうえ、当課の要望に沿った配車ができている。</p>						

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4		
3	《リサイクル・環境保全事業》 生活・環境保全活動に率先して取り組むとともに、資源循環啓発施設を中心とした講座等の実施を通して、市民の環境意識の向上につなげ、静岡市の『もったいない』で未来へつなげる循環型社会しずおかの創造』を促進し、もって持続可能な社会の実現を図ることを目的にごみ減量化・資源化を推進する。 (関係課:ごみ減量推進課・環境創造課)	沼上資源循環学習プラザ利用者数	目標(人以上)	—	9,500	9,500	9,500	9,500	
			実績(人)	9,689	9,591	5,201	7,652		
			進捗状況	—	達成	未達成	未達成		
		西ヶ谷資源循環体験プラザ利用者数	目標(人以上)	—	23,700	23,700	23,700	23,700	
			実績(人)	24,288	23,953	10,273	13,043		
			進捗状況	—	達成	未達成	未達成		
		環境アドプトプログラム事業への参加	目標(活動)	—	3	3	3	3	
			実績(活動)	3	3	3	2		
			進捗状況	—	達成	達成	一部休止		
	取組状況 達成に向けた課題等	【取組状況】 ・資源循環啓発施設(沼上資源循環学習プラザ・西ヶ谷資源循環体験プラザ)では、学習と体験の両輪により2施設を一体的に運営し、市民の環境意識の向上に取り組んでいる。施設の運営・管理については、コロナ禍で、講座・イベント等の中止、人数制限等により規模を縮小するとともに、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づき、万全な対策を施し、市民が安心して利用していただけるように努めた。結果、利用者数は前年度と比較し増加したものの、コロナ禍前の利用者数には達していない状況である。 ・沼上資源循環学習プラザでは、4R啓発や自然環境への意識を高めるための講座をはじめ、小学校やこども園等と連携し、環境学習講座を実施した。 ・西ヶ谷資源循環体験プラザでは、リサイクル材料を活用した吹きガラス等のものづくり体験や温泉施設でのサマルリサイクル体験の実施、子ども服リユースマーケットを開催し、リユースへの取組を推進した。 ・環境アドプトプログラム事業では、「河川、自然、森林環境アドプトプログラム事業」に参画し、環境保全活動へ積極的に取り組んできたが、自然環境アドプトプログラム事業については、活動場所の護岸整備等に伴う環境の変化により休止することとなった。 ・河川利用者マナー啓発活動等業務では、安倍・藁科・興津川の河川利用者に対して、河川利用に係るマナー啓発活動を実施するとともに、海洋プラスチック問題への意識向上に努めた。 【課題等】 ・講座等の開催に当たっては、静岡市感染防止対策方針に基づき、万全な対策を施し、市民が安心して利用していただけるように努めているが、一方で、今後の施設利用者数の確保が課題となっている。 ・環境に関する高度な専門的知識をもった人材の確保が課題である。							
	関係課意見	【ごみ減量推進課意見】 コロナ禍において、講座・イベントの中止や人数制限等を行ったことにより、利用者数は目標未達成となったが、感染対策を徹底したうえで、講座やイベント等を実施したことは運営手法の工夫の結果として評価できる。 【環境創造課意見】 河川環境アドプトプログラムについて季節ごとに活動し、自然環境の保全や市民の意識の高揚に貢献している。							
	項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4	
4	《し尿くみ取り事業》 くみ取りトイレを有する市民の利便性を確保するため、将来にわたる安定的なし尿くみ取り業務を提供する。 (関係課:廃棄物対策課・ごみ減量推進課)	し尿くみ取り業務の確実な実施	目標	—	業務完全実施	業務完全実施	業務の完全実施	業務の完全実施	
			実績	実施	実施	実施	実施		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
		大規模災害を想定した業務体制の構築	目標	—	体制維持・補完	体制維持・補完	体制維持・補完	体制維持・補完	
			実績	体制維持	体制維持	体制維持	体制維持		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
		目標	—						
		実績							
		進捗状況	—						
取組状況 達成に向けた課題等	【取組状況】 ・し尿くみ取り業務については、必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し確実に実施できている。 ・大規模災害を想定した収集運搬体制の構築については、平成29年10月に「業務継続計画」を策定し、状況の変化に応じて適宜見直しを図るなど、適切な運営体制を構築している。 【課題等】 ・くみ取り業務が縮小傾向にある中で、市民の要請に対し安定したサービスを提供するため、業務に精通した人員の確保及び育成が課題となっている。 ・大規模災害時における仮設トイレ等のくみ取り業務について、現在、浄化槽清掃業務と併せてその体制を構築しているが、今後のし尿くみ取り業務等の縮小傾向を見据えると、災害時に必要な人員の確保が課題となってくる。								
関係課意見	【廃棄物対策課意見】 市民の利便性を低下させることなく、し尿くみ取り地区の確実なし尿収集ができている。 【ごみ減量推進課意見】 業務継続計画の策定・随時見直しにより、大規模災害等に備えている。								

	項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4	
5	《浄化槽維持管理事業》 浄化槽の適正な維持管理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上につなげる。 (関係課: 廃棄物対策課・農地整備課)	浄化槽維持管理件数	目標(基)	—	3,070	3,060	3,050	3,040	
			実績(基)	3,104	3,155	3,138	3,139		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
		浄化槽維持管理業務に必要な資格者等の確保(新規取得者の推進)	目標(人)	—	3	3	3	3	
			実績(人)	6	8	1	3		
			進捗状況	—	達成	未達成	達成		
		浄化槽維持管理業務に必要な研修への参加	目標(人)	—	3	3	3	3	
			実績(人)	5	4	16	12		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽維持管理業務については、必要な有資格者の配置、車両及び資機材等を配備するとともに、高度化される浄化槽の維持管理に対応できる職員の育成を図り、適正かつ確実に実施できている。 ・浄化槽維持管理業務に必要な資格者等の確保については、取得計画に基づき研修等を受講させ、資格を取得し、目標を達成できた。 ・浄化槽維持管理業務に必要な研修への参加について、令和元年度の浄化槽法改正により、令和2年度から浄化槽管理士に対する研修が必要となったため、受講人数が増加した。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽維持管理業務について、公共下水道等への切替により、業務の減少傾向が見込まれる状況である。そのため、公共下水道等の計画区域外において、浄化槽維持管理及び浄化槽清掃業務の新規契約取得の推進など、さらなる経営基盤の強化を図る必要がある。 							
	関係課意見	<p>【廃棄物対策課意見】</p> <p>資格保有者の確保を促進するとともに、育成にも努め、安定した浄化槽維持管理事業を実施している。</p> <p>【農地整備課意見】</p> <p>農業集落排水処理施設の維持管理業務を適正に実施できている。</p>							
	項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4	
6	《市廃棄物処理施設運転管理事業》 廃棄物処理施設の運転管理に精通した人材を育成し、安心・安全で安定した維持管理の実施。 (関係課: 廃棄物処理課)	沼上最終処分場 浸出液処理施設 ・静岡衛生センター し尿処理施設 ・静岡衛生センター 南部中継所の 運転管理	目標	—	確実な業務の実施	確実な業務の実施	確実な業務の実施	確実な業務の実施	
			実績	実施	実施	実施	実施		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
		運転管理業務に必要な資格取得者等の確保(新規取得者の推進)	目標(人)	—	3	3	3	3	
			実績(人)	8	5	0	5		
			進捗状況	—	達成	未達成	達成		
		運転管理業務に必要な研修への参加	目標(人)	—	3	3	3	3	
			実績(人)	3	4	0	4		
			進捗状況	—	達成	未達成	達成		
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市廃棄物処理施設運転管理業務においては、運転管理に精通した人材の配置、運搬車両及び資機材等を配備し、適正かつ確実に実施できている。 ・市廃棄物処理施設運転管理業務に必要な資格者等の確保については、取得計画に基づき研修等を受講させ、資格を取得し、目標を達成できた。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当面の課題はないが、今後も安心・安全で安定した維持管理を行うため、計画的に人材育成を図っていく。 							
	関係課意見	<p>【廃棄物処理課意見】</p> <p>市職員との連携を密にとりながら施設の適正な運転管理を実施し、継続して安定的な処理ができています。</p>							

2 経営面における取組状況(組織・人材・財政面等)

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4		
1	《経営基盤の確立・人材的な基盤》 ・永続的な事業継続のための計画的な採用、人材育成 ・専門知識を有する人材の育成	業務量に合わせた弾力的な職員確保、適正配置の実施	目標	—	職員の適正配置	職員の適正配置	職員の適正配置	職員の適正配置	
			実績	実施	実施	実施	実施		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
			目標	—					
			実績						
			進捗状況	—					
			目標	—					
			実績						
			進捗状況	—					
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業における業務量を踏まえた職員採用、適正配置により、事業を実施している。 ・業務上必要な講習・研修・説明会等へ積極的に職員を参加させ、人材育成を図るとともに、経験、知識及び資格を有した当公社退職者並びに市退職者を再雇用し、必要な人材を確保している。 ・国の「特定就職困難者(高齢者・障害者)雇用拡大」施策を促進し、人材を確保するとともに、採用就労にあたっての助成金を得ている。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規職員の年齢階層の一部で空白が生じており、今後の事業の継続実施を見据えた、正規職員と臨時職員、年齢など、バランスのとれた職員雇用が必要であり、適正な人員配置が課題となっている。 							
	所管課意見	各事業において、当初の目標が確実に達成されており、職員の適正配置及び人材育成の結果といえる。							
	2	《経営基盤の確立・財政的な基盤》 収支均衡が確保された健全な財政運営	健全な財政運営	目標	—	収支均衡	収支均衡	収支均衡	収支均衡
実績				収支均衡	収支均衡	収支均衡	収支均衡		
進捗状況				—	達成	未達成	達成		
			目標	—					
			実績						
			進捗状況	—					
			目標	—					
			実績						
			進捗状況	—					
取組状況 達成に向けた課題等		<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭から排出される引越ごみ等の収集運搬業務がコロナ禍で増加し、また、経費削減努力により、収支均衡のとれた財政運営ができています。 ・経費削減については、燃料費の内、軽油及びガソリンの調達方法について、令和2年度から競争入札を導入し、適正価格での購入を推進した結果、市場価格に比べて購入単価が低減されたが、昨今の価格高騰には苦慮している。また、エコアクション21を推進し、光熱水料費等の支出抑制を図った。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原油価格高騰などによる燃料費、消耗品費等の経費がさらに増大するなかで、経常費用の支出抑制が課題となっている。 							
所管課意見		財務状況は収支均衡が確保されており健全である。また各財務指標も良好であり、経営基盤は安定している。							

3 団体の経営状況の総括

・令和3年度における経営状況の経常収益については、一時的多量ごみ収集運搬業務等が増加し、7,709千円の増収となったため、全体で13,178千円増収し、前年度比1.3%増の1,026,430千円となりました。

・経常経費については、前年度に退職引当金の是正を行ったため、退職給付費用の減により、前年度より64,575千円の減額となりました。その他の業務については、例年並みで推移したため、全体では、前年度比6.1%減の995,275千円となりました。

・結果、経常外収益及び経常外費用を含めて31,383千円の黒字決算となりました。今後も安定した経営状況となるよう努めて参ります。

4 今後の方針／新たな課題 など

【新たな課題】

【今後の方針】

・静岡市の廃棄物行政の永続的な受け皿(セーフティネット)として、どのような状況でも対応できる体制を整えるため、既存業務の将来的な需要の動向を把握し、中長期の経営を見据え、業務内容、業務規模を検討するとともに、当面は浄化槽維持管理業務の新規契約者の獲得や市の新規事業を受託するなど、市との連携をさらに深め事業を推進することで、経営基盤の安定化を図っていきます。

・公益目的支出計画の適正な実施に努め、計画年度終了年である令和16年3月31日まで、収支の均衡が確保された健全な財政運営を実現するため、基本財産の保全、業務の効率的な運営を実施するとともに経常経費の削減等に努めていきます。

※経営計画書の見直しが必要な場合には、その理由とともにその旨記載してください。

5 市への要望・意見

・各事業における業務内容を踏まえ、経験、知識を有した市退職者を再雇用し、必要な人材を確保しているため、今後も再雇用先として当公社への紹介をお願いしたい。

・家庭可燃ごみ収集運搬業務において、従事する職員の内、臨時職員及びパートタイム職員の割合が約76%、65歳以上の高齢者職員が約55%となっている。また、運転手は67歳以下としているが、臨時職員の募集をしても若い世代の応募は無く、人員確保が困難となっている。今後も、市のパートナーとして、安定的に継続して事業を担うためには、正規職員と臨時職員、年齢など、バランスのとれた職員雇用が必要と考えており、適正な人員配置に必要な人件費の確保をお願いしたい。

6 パートナーとしての市の取組(所管課記載)

静岡市環境公社の基本理念である市民の健康で文化的な生活の確保に向けた各事務事業の実施状況及びその事務事業が確実に達成できる経営基盤が確立されているかを確認・評価している。

7 所管課による総合評価・意見(所管課記載)

各事務事業は、適正かつ確実に実施されており、その事業がもたらす公益的な価値から当該団体の本市のパートナーとしての役割を存分に発揮しているものと評価できる。

また、経営面においては、債務超過も無く、自己資本比率、流動比率等の財務指標も良好である。公益的事業の担い手としては、長期的に安定して本市の環境行政を補完・代替・支援する役割を担うことが求められる。当該団体の財務状況は本市のパートナーとして、問題のない状況にあり、これも事業の公益性を自覚し、業務効率の向上等の経営基盤の強化に取り組んでいる結果である。

今後においても、各事業において本市との連携を密にするとともに、当該団体が掲げる課題解決を意識し、自主的・自律的な事業展開により、本市のパートナーとしてこれまで以上に市民の健康で文化的な生活の確保に寄与されたい。